

# プレママインフォメーション

第51回

「不妊症」とは、妊娠を望む健康なカップルが、避妊をせずにセックスしているにもかかわらず、1年間妊娠しないものをいいます。日本では、10組に1~2組のカップルが悩みを抱えているとされ、その割合は増加傾向です。今回は、最先端の医療技術と設備、さらには医師をはじめとした専門職の力の結集で治療を行う福田病院の「生殖内分泌科」について、山本先生にお話しを伺いました。

取材協力/福田病院

生殖内分泌科には女性医師が多数在籍。患者さんの声に耳を傾け、最善の方法を考えます

前列(左から)新堀曜子先生(産婦人科)、山本勢津子先生(産婦人科/生殖医療専門医)、伊藤史子先生(産婦人科/生殖医療専門医)  
後列(左から)柚留木朋子先生(麻酔科)、岩政浩子先生(麻酔科)、榎木美智子先生(産婦人科)、佐藤智紀先生(産婦人科)



「生殖内分泌科」とは…

妊娠・出産を望む人に対して、一般不妊治療から生殖補助医療(体外受精など)に至るまでの幅広い治療を行う専門外来。福田病院では、生殖医療専門医をはじめ、産婦人科医、IVF(体外受精)コーディネーター、胚培養士(エンブリオロジスト)などがチームとなって、それぞれの専門的な知識と技術を駆使した治療とケアを行っています。2020年(1月~12月)は、福田病院の生殖内分泌科外来で390人が妊娠。最高分娩年齢は45歳(3人)という治療実績があります。

## 生殖内分泌科

“晩婚・晩産”産みにくい時代だからこそさらに必要とされています

# 「赤ちゃんが欲しい」その想いにこたえる“チーム医療”の役割

大きく開きがある“社会的適齢期”と“生物学的適齢期”。30歳からの「卵の質の低下」は、避けては通れません!

女性が社会で活躍し、ライフスタイルも多様化するいま。初産年齢の平均が30歳を超えるなど、晩婚化・晩産化が加速しています。仕事もプライベートも充実しているから、赤ちゃんはもう少し先でも…と考える人も多いかもしれません。しかし、“いざ赤ちゃんが欲しい”と思ったときに、年齢が大きなハードルとなるケースは少なくありません。

“不妊治療をすれば、いくつになっても出産できる”、それは残念ながら間違いです。女性は30歳を超えると、卵子の数の減少だけでなく「質」も低下し、妊娠する力が年に3.5%低下すると言われています。さらに、35歳以上では、それが急激に下降する。不妊治療の技術が日進月歩する中でも、「卵の質の低下」を止める・治す方法はありません。

どんなに寿命が伸びても、女性の妊娠に適した時期は、卵子の質が正常で、卵子の量が充分あり、ホルモンバランスがよく卵巣機能が正常な期間である、25歳~35歳前後であることに変わりはありません。

もしも…の時の新生児ケアも一貫して行える環境。さらに、孤独感を抱えがちな患者さんに寄り添う心のケア

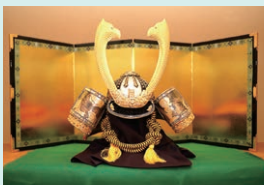
加齢に伴い妊娠率が低下すると同時に、流産率も高まり、早産などのリスクも多くなります。地域周産期母子医療センターの認定を受けている福田病院では、新生児センターにて小さく生まれた・早く生まれた赤ちゃんへ専門的な治療とケアを行っています。不妊治療期間から妊娠・出産に至った経緯、その後のお子さんの成長まで、一貫して見届けることができるのも大きな特徴です。

思った通りの結果が出ないことへのいらだち。いつまで続くかわからない治療…孤独感や無力感を抱えがちな不妊治療。患者さんに寄り添い、折れそうになった心を支えてくれるのが臨床心理士の役目です。ほかにも、専門知識のあるコーディネーターによるきめ細やかな説明など、医師・看護師だけでなく専門スタッフによるチームワークが治療成功の鍵となります。

産む・産まないの選択やライフプランは人それぞれです。しかし、結婚後、赤ちゃんを希望して1年たっても妊娠しないなら、早めに専門医に相談されることをお勧めします。

## お腹の赤ちゃんと祝う「0回目の端午の節句」

5月5日、お腹の中の元気な男の子の成長を願って「0回目の端午の節句」が、2年ぶりに開催されました。24回目となる今年は、地域文化交流館「寿心亭」を会場に、感染症対策にも配慮しながら少人数で実施。折り紙で作った鯉のぼりや色とりどりのデコレーショングッズを使って、オリジナルメッセージカード作りにチャレンジ。笑顔あふれる楽しいひと時をすごされました。



例年、カード作成後にスイーツで歓談タイムを設けていましたが、今回は特製スイーツのお土産付に



生まれてくるのをとっても楽しみにしているよ



Happy

陣痛のときどうしたら…? お名前は決まっていますか? など、作成の間には、助産師さんなどスタッフとの会話も弾んでいました



お腹の赤ちゃんに語りかけるように、思い思いのメッセージカードに綴って…。デザインも十色



最後は、参加者&スタッフみんなで記念撮影

## NEWS

今年は動画で配信! プレパパスクール

毎年、「父の日」に行われる恒例イベント「プレパパスクール」。初めてパパになるプレパパを対象に、出産・育児に関する内容を楽しく学びながら、パパになる準備を進めるプログラム。感染症対策として、今回は、スタッフが力を合わせて作成した動画で、役立つ内容をお伝えします。ぜひチェックを。



6月20日(日)スタート!